

1 章 群動詞

1 動詞+副詞	4
2 動詞+前置詞	5
3 動詞+副詞+前置詞	6
4 動詞+名詞+前置詞	7
● 章末問題	8

2 章 形容詞

1 形容詞の基本用法	10
2 注意すべき形容詞	11
3 形容詞の位置	12
4 「数」と「量」の表し方	13
■ 練成問題	14
5 be+形容詞+前置詞	16
6 be+形容詞+to-不定詞	17
7 be+形容詞+that節 / wh節	18
■ 練成問題	19
● 章末問題	21

3 章 副詞

1 副詞の基本用法	23
2 注意すべき副詞の用法	24
■ 章末問題	25

4 章 前置詞

1 at	27
2 in	28
3 on	29
4 by	30
5 for	31
6 from	32
7 to	33
8 of	34
9 with	35
■ 練成問題	36
10 注意すべき前置詞	38
11 群前置詞	39
12 動詞+前置詞	40
13 動詞+O+前置詞	41
■ 練成問題	42
● 章末問題	44

5章 名詞

1 数えられる名詞	46
2 数えられない名詞	47
3 主語と動詞の呼応	48
● 章末問題	49

6章 冠詞

1 不定冠詞の用法	51
2 定冠詞の用法	52
3 無冠詞	53
● 章末問題	54

7章 代名詞

1 所有代名詞の用法	56
2 再帰代名詞の用法	57
3 指示代名詞の用法	58
■ 練成問題	59
4 one	61
5 some[any] (of ...)	62
6 another ; other	63
7 all ; each ; none	64
8 both ; either ; neither	65
■ 練成問題	66
● 章末問題	68

形式別問題研究

1 適語選択問題	70
2 正誤判定問題	76
3 整序作文問題	81
4 和文英訳 / 条件・自由英作文問題	91

1章 群動詞

〈動詞+副詞〉, 〈動詞+前置詞〉, 〈動詞+副詞+前置詞〉などの形で, 1つのまとまった動詞と同じ働きをするものを群動詞と呼ぶ。句動詞あるいは動詞句と呼ぶこともある。

1 動詞+副詞

////// 基本例文 ////

① I was late because my car **broke down**.

② He **took off** his shoes.

① 車が故障したので私は遅れた。

② 彼は靴を脱いだ。

〈動詞+副詞〉の群動詞は自動詞としても, 他動詞としても用いられる。他動詞として用いられる場合には, 目的語が名詞と代名詞とでは位置が異なることがあるので注意が必要である。また, 〈動詞+副詞〉は別の1語の動詞に置き換えられることがある。

① 自動詞として用いられている。次のように他動詞としても用いられる。

My brother **broke down** my bicycle. (弟はぼくの自転車をこわしてしまった)

② 他動詞として用いられている。次のように目的語の名詞の位置を変えることができる。

He **took** his shoes **off**.

注意 目的語が代名詞の場合には位置に注意する。

(○) He **took them off**. (彼はそれらを脱いだ) (×) He **took off them**.

注意 ほかの動詞と置き換えられる〈動詞+副詞〉の例をいくつかあげておく。

break in=interrupt, break out=start, call off=cancel, call up=telephone,

carry on=continue, carry out=perform [fulfill], come about=happen,

come up=arise, get away=escape, get in=enter, give in=surrender, give up=stop,

hand in=submit, leave off=stop, leave out=omit, look over=check,

make out=understand, make up=compose, pick out=choose, put off=postpone,

put out=extinguish, show up=appear, take in=deceive, take off=remove,

take on=undertake, turn in=submit, turn up=appear [arrive, come],

work out=solve

● Check-1 //////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////

・次の英文を日本語に直しなさい。

(1) It is impolite to break in when someone else is talking.

()

(2) Just tell me how the accident came about.

()

(3) The doctor told him to give up drinking and smoking.

()

(4) I'll buy you a watch, but you'll have to pick it out.

()

2 動詞＋前置詞

基本例文

- ① She **came across** an old friend in town today.
- ② Mrs. Hall was not at home when I **called on** her.
- ③ I'll **look after** your dog while you are away.
 - ① 彼女は今日町で偶然旧友に会った。
 - ② 私がホール夫人を訪れたとき、彼女は家にいなかった。
 - ③ あなたが出かけているあいだ私が犬の世話をしてあげましょう。

〈動詞＋前置詞〉の群動詞は前置詞のあとに常に名詞・代名詞の目的語を必要とする1つの他動詞の働きをする。したがって、名詞・代名詞は前置詞の前に移動することはできない。また、〈動詞＋前置詞〉は別の動詞(＋副詞、前置詞など)で置き換えられることがある。

- ① come across ~ = meet ~ by chance 「偶然会う」。across は前置詞なので目的語の名詞は常にそのあとに続く。(×) She **came** an old friend **across** in town today.
- ② call on ~ = visit ~ 「~を訪れる」。on は前置詞なので目的語の代名詞は常にそのあとに続く。(×) Mrs. Hall was not at home when I **called her on**.
- ③ look after ~ = take care of ~ 「~の世話をする」。この場合、〈動詞＋名詞＋前置詞〉という別の群動詞と置き換えられる。

注意 ほかの動詞などと置き換えられる〈動詞＋前置詞〉の例をいくつかあげておく。

ask for = request [demand], call on = visit [ask, invite]
 care for <ふつう否定文・疑問文で> = like, come by = obtain
 come across = meet [find] by chance, get over = recover from
 go over = check [examine carefully], look for = search for, look into = investigate
 run across = meet [find] by chance, stand for = represent, take after = resemble

注意 このほかにもよく使われる〈動詞＋前置詞〉の群動詞とその意味をあげておく。

agree with ~ 「~に同意する」, call for ~ 「人を誘いに寄る；要求する」,
 do without ~ 「~なしですませる」, get on ~ 「(乗り物)に乗る」,
 hear from ~ 「~から便りをもらう」, hear of ~ 「~の噂を聞く」,
 keep from ~ing 「~しないでいる、こらえる」, run over ~ 「(車が人)をひく」,
 see to ~ 「~を取り計らう、手配する」, wait for ~ 「~を待つ」

● Check-2

・次の英文を日本語に直しなさい。

- (1) This job calls for practice and patience.
 ()
- (2) If you can't get meat, you'll have to do without it.
 ()
- (3) He ran across Jane when he was walking along the street.
 ()
- (4) Do you know what EU stands for? — Yes. It stands for European Union.
 ()

3 動詞＋副詞＋前置詞

基本例文

- ① Her recital did not **come up to** our expectations.
- ② I started last but soon **caught up with** them.
- ③ We all **look up to** our homeroom teacher.
 - ① 彼女のリサイタルは私たちが期待した線には達しなかった。
 - ② 私は最後に出発したが、まもなく彼らに追いついた。
 - ③ 私たちはみんな担任の先生を尊敬している。

〈動詞＋副詞＋前置詞〉の群動詞は前置詞のあとに常に名詞・代名詞の目的語を必要とする1つの他動詞の働きをする。また、別の動詞と置き換えられることがある。

- ① **come up to** ～＝**be equal to** ～ 「(標準・期待の線に)達する」。「～のところに来る」の意味を表すこともある。

A dog **came up to** me. (1匹の犬が私のところにやって来た)

- ② **catch up with** ～＝**overtake** ～ 「～に追いつく」。catch up という〈動詞＋副詞〉の形で用いられることもある。

Go ahead, and I'll soon **catch you up**. (先に行きなさい、すぐに追いつくから)

- ③ **look up to** ～＝**respect** ～ 「～を尊敬する」。受動態にした場合も、〈動詞＋副詞＋前置詞〉は1つの動詞のように扱う。

Our homeroom teacher is **looked up to** by us all.

注意 そのほかの〈動詞＋副詞＋前置詞〉の群動詞の例とその意味をあげておく。

do away with ～＝**remove** 「処分する」; abolish 「廃止する」, get along with ～ 「～と(うまく)やっていく, 暮らしていく」, hold on to ～ 「～にしっかりとつかまる」, keep up with ～ 「～に遅れずについて行く」, look down on ～＝**despise** 「軽べつする」, look forward to ～ 「～を楽しみにして待つ」, look out for ～ 「～に気をつける」, make up for ～＝**compensate for** ～ 「～を補う, 埋め合わせをする」, put up with ～＝**bear, stand, endure, tolerate** 「我慢する」, run out of ～ 「(品物など)を切らす」

● Check-3

次の()内の語(句)を並べかえて、意味の通る英文を完成させなさい。また、完成した英文を日本語に直しなさい。

- (1) She (them / ran / up / fast / catch / with / to).

()

- (2) We (you / are / seeing / looking / again / to / forward).

()

- (3) They (for / had / make / the loss / to / up).

()

4 動詞＋名詞＋前置詞

基本例文

- ① Nobody **paid attention to** what I said.
- ② She **takes good care of** her sisters.
- ③ We shouldn't **find fault with** others.
 - ① だれも私の言うことに注意を払わなかった。
 - ② 彼女は妹たちの面倒をよくみている。
 - ③ 私たちは他人のあらさがしをするべきではない。

〈動詞＋名詞＋前置詞〉の群動詞は前置詞のあとに名詞・代名詞の目的語を必要とする1つの他動詞の働きをする。また、別の動詞(＋前置詞など)と置き換えられることがある。

- ① pay attention to ～「～に注意を払う」。attention の前に形容詞をつけることがある。
They **paid no attention to** what I said. (彼らは私の言うことに注意を払わなかった)
- ② take care of ～「～の世話をする, 面倒をみる」。care の前に形容詞がある場合, これを主語にした受動態を作ることができる。したがって, 次のように2通りの受動態を作ることができる。
Good care is taken of her sisters by her.
Her sisters are **taken good care of** by her.
- ③ find fault with ～=criticize 「あらさがす, 非難する」

注意 そのほかの〈動詞＋名詞＋前置詞〉の群動詞の例とその意味をあげておく。

catch [get] sight of ～「～を見つける」, lose sight of ～「～を見失う」, make a fool of ～「～をばかにする, 笑いものにする」, make fun of ～「～をからかう」, make much of ～「～を重んじる」, make the most of ～「～を最大限に利用する」, make the best of ～「～を大いに[できるだけ]利用する」, make use of ～「～を利用する」, take notice of ～「～に注意を払う, 気づく」, take part in ～=participate in ～「～に参加する」

● Check-4

・次の()内の語(句)を並べかえて, 意味の通る英文を完成させなさい。また, 完成した英文を日本語に直しなさい。

- (1) People (as / him / up / looked / to) a great artist.

()

- (2) He (with / us / fault / always / finding / is).

()

- (3) All of us (part / the school / in / festival / took).

()

- (4) They (fun / stopped / the little boy / making / of).

()

章末問題

① 次の文の()内から正しいほうを選び、記号で答えなさい。また、英文全体を日本語に直しなさい。

- (1) A fire broke (ア off イ out) in the village last night. ()
()
- (2) Because it was rainy, we called (ア away イ off) the game. ()
()
- (3) How did you come (ア by イ on) this beautiful Chinese vase? ()
()
- (4) I ran (ア across イ away) Jenny on my way home. ()
()
- (5) The ship will roll, so just hold (ア up イ on) to this handle. ()
()
- (6) We should make up (ア for イ with) the wasted time. ()
()
- (7) She couldn't put (ア off イ up) with his rude words. ()
()
- (8) You must stop making (ア a fool イ the use) of the poor old man. ()
()

② 次の日本語に合う英文になるように、()内の語(句)を並べかえなさい。

- (1) あなたはそれを省略することができます。
(leave / can / it / you / out).
.....
- (2) 彼女はしゃべり方が母親に似ている。
(her way / in / after / takes / her mother / she) of talking.
.....
- (3) これらのデータをもう一度よく調べてみよう。
(once / over / let's / more / these / go / data).
.....
- (4) 私たちはその悪い法律を廃止すべきである。
(with / we / the bad / do / law / should / away).
.....
- (5) あなたの歌を聞くことを楽しみに待っています。
(hearing / to / I'm / forward / your songs / looking).
.....
- (6) 彼らはあなたの助言を利用すべきだ。
(use / they / your advice / make / should / of).
.....

③ 次の各組の英文がほぼ同じ内容を表すように、.....に適する語を書きなさい。

- (1) He interrupted when I was about to talk.
He broke when I was about to talk.
- (2) Don't postpone till tomorrow what you can do today.
Don't put till tomorrow what you can do today.
- (3) I think he has the courage to fulfill his plan.
I think he has the courage to out his plan.
- (4) Thanks to the doctor, I'm recovering from my cold.
Thanks to the doctor, I'm getting my cold.
- (5) I visited him at his office the other day.
I on him at his office the other day.
- (6) The police have been investigating the case.
The police have been looking the case.
- (7) People despised the politician because he didn't keep his word.
People looked on the politician because he didn't keep his word.
- (8) I paid no attention to what they were doing.
I took no of what they were doing.
- (9) We could hardly bear the noise outside the room.
We could hardly up with the noise outside the room.
- (10) All the students participated in the athletic meet.
All the students took in the athletic meet.

④ 次の英文を日本語に直しなさい。

- (1) We had been waiting for an hour before Mary showed up for the party.
()
- (2) His handwriting was so bad that I could hardly make it out.
()
- (3) Instead of asking for the cake, the child just took it.
()
- (4) She said to me, "Would you care for another cup of coffee?"
()
- (5) The old man is looked up to by all the people in the town.
()
- (6) I have to go to the supermarket to buy some sugar because I've run out of it.
()
- (7) She made the most use of the library in order to write her report.
()
- (8) Never lose sight of the fact that you have a lot of talent.
()

2章 形容詞

形容詞には直接名詞を修飾する限定用法と、動詞の補語になる叙述用法とがある。また、形容詞は意味の上から、性状を表す形容詞と数量を表す形容詞とに分けられる。

1 形容詞の基本用法

////// 基本例文 //////////////

- ① This is a very **interesting** book.
- ② This book is very **interesting**.
- ③ I found this book very **interesting**.
 - ① これはとても面白い本です。
 - ② この本はとても面白い。
 - ③ 私はこの本がとても面白いことがわかった。

形容詞の用法は2つある。直接名詞を修飾する場合を**限定用法**と呼ぶ。〈SVC〉、〈SVOC〉の文型で動詞の補語になる場合を**叙述用法**と呼ぶ。どちらか1つの用法しか持たない形容詞もある。

- ① 限定用法。名詞を直接修飾する。ふつうは名詞の前にくるが、名詞のあとにくる場合もある(⇒ **3 形容詞の位置**)。

注意 限定用法だけしか持たない形容詞がある。

our **only** child, a **mere** child, the **main** street, the **latter** half, a **live** house, in **total** silence, an **inner** pocket, the **outer** world, the **very** top, my **favorite** song

- ② 叙述用法。〈SVC〉の文型で主格補語になる。
- ③ 叙述用法。〈SVOC〉の文型で目的格補語になる。

注意 叙述用法だけしか持たない形容詞がある。

be **afraid**, be **alike**, be **alive**, be **alone**, be **ashamed**, be **asleep**, be **awake**, be **aware**, be **content**, be **liable**, be **subject**

注意 限定用法と叙述用法で意味が異なる形容詞がある。

Who is the **present** Prime Minister? (現在の首相はだれですか)

The Prime Minister was **present** at the party. (首相はパーティーに出席した)

ほかに、certain(ある~/確かな)、due(当然の~/予定である)、late(故~/遅い)などがある。

● Check-1 ////////////////

・次の文の()内から正しいほうを選び、記号で答えなさい。また、英文全体を日本語に直しなさい。

- (1) Listen to this song. It is my (ア alike イ favorite) song. ()
()
- (2) I'll show you around my town. (ア This is the main street イ This street is main). ()
()
- (3) There will be a (ア living イ live) TV show here this afternoon. ()
()

2 注意すべき形容詞

基本例文

- ① Julia lives in *Egypt* now, and is interested in ancient **Egyptian** buildings.
- ② Bob often behaves in a **childish** way. / Mary has a **childlike** faith in God.
- ③ This dictionary is very **useful**, while that one is rather **useless**.
- ④ We'll be **happy** to have you at our house this evening. Is it **convenient** for you?
- ⑤ Anna was a **twelve-year-old** girl — she was just **twelve years old**!

- ① ジュリアは現在エジプトに住んでいて、古代エジプトの建造物に興味がある。
- ② ボブはよく子供っぽい振る舞いをする。/ メアリーは神に子供のような純真な信仰を抱いている。
- ③ この辞書はとても役に立つが、あの辞書はあまり役に立たない。
- ④ 今晚私たちのところに来ていただけるとうれしいです。ご都合はよろしいですか。
- ⑤ アンナは12歳の少女だった — まだ12歳だったのだ!

形容詞には名詞や動詞などから派生したものがある。また、接頭辞や接尾辞をつけることによって意味が異なる。さらに、叙述用法でも主語によっては用いられるものと用いられないものがある。

① 国名から派生した形容詞

Germany → German, Italy → Italian, Korea → Korean, China → Chinese,
Switzerland → Swiss, Spain → Spanish, France → French, Greece → Greek

② (a) 名詞から派生した形容詞 (b) 接尾辞によって意味の異なる形容詞

(a) 〈名詞+ic, -al, -ical, -ar, -ary, -en, -ous, -ish, -y, -ive, -like〉

oceanic, natural, historical, familiar, visionary, wooden, dangerous, girlish,
healthy, active, manlike

(b) considerable : considerate, economic : economical, historic : historical,
imaginary : imaginative, respectable : respectful, sensible : sensitive

③ 反対の意味を表す接尾辞(接頭辞) 例 helpful : helpless, honest : dishonest, possible : impossible, regular : irregular, believable : unbelievable

④ 叙述用法に用いることができる主語とできない主語。happy を〈SVC〉で用いる場合、主語は人・動物だけである。convenient の場合、人は主語になることができない。

(×) *It is happy that we will have you at our house this evening.* (例 : able, sure)

(×) *Are you convenient?* (例 : impossible, necessary)

⑤ 2語以上の語がハイフンで結合した形容詞。限定用法。twelve-years-old とならないことに注意。

● Check-2

・次の英文の()内の語を適する形に直しなさい。

- (1) This is a watch made in Switzerland, namely a (Switzerland) watch.
- (2) That was an old (wood) bridge. It was made of wood many years ago.
- (3) Jim often tells lies. He must be a (honest) man.
- (4) My father always takes care of himself, so he is very (health).
- (5) We all know that a dragon is an (imagine) animal.
- (6) I saw a bear that was eight feet in the zoo — an (eight feet) bear!
- (7) Kyoto is a city which has many (history) places.

3 形容詞の位置

基本例文

- ① She was walking with an **empty** basket.
- ② She was walking with a basket **full of flowers**.
- ③ Did I say *anything* **wrong** to you?
- ④ I met *a* **pretty young French** girl on my way to school.
 - ① 彼女は空のかごを持って歩いていた。
 - ② 彼女は花がいっぱい入ったかごを持って歩いていた。
 - ③ 私はあなたに何か悪いことを言いましたか。
 - ④ 私は学校へ行く途中でかわいい若いフランス人の女の子に会った。

限定用法の形容詞は形容詞だけの場合には名詞の前にくるが、形容詞が他の語と結合してひとまとまりの意味を表す場合や、ある特定の代名詞の場合には後ろにくる。

- ① 限定用法で形容詞だけの場合、修飾する名詞の前にくる。

注意 形容詞の **enough** は名詞の前でも後ろでもよいが、前のほうがふつうである。

There is **enough** time [time **enough**] for a quick snack.

(急いで軽い食事をするだけの時間は十分ある)

- ② full of flowers のように形容詞が他の語と結合してひとまとまりの意味を表す場合、名詞の後ろにくる。= She was walking with a basket *that was* **full of flowers**.
- ③ -thing で終わる不定代名詞を修飾する場合、形容詞はその後ろにくる。

注意 -body, -one, -where で終わる語を修飾する場合も同様である。

They need *someone* **bright and strong**. (彼らは頭がよくて強い者を必要としている)

Let's go *somewhere* **quiet**. (どこか静かなところへ行こう)

- ④ 形容詞を並列する場合の順序はだいたい次のとおりである。

①冠詞・所有代名詞 ②序数 ③数量 ④性状 ⑤大小 ⑥新旧 ⑦色 ⑧材料・所属

*①～③の順序は決定的である。

例: the last two old red brick houses (古い赤レンガの最後の2軒)

Jack's new gray steel desk (ジャックの新しい灰色のスチールの机)

● Check-3

次の()内の語(句)を並べかえて、意味の通る英文を完成させなさい。

- (1) (wine / famous / the world / France / all / produces / over).

.....

- (2) (give / to drink / me / something / will / hot / you)?

.....

- (3) There (was / nobody / in / our / interested / conversation).

.....

- (4) (beautiful / roses / Grandma / these / grows / white).

.....

- (5) (anybody / to / do / know / interesting / talk / you) with?

.....

4 「数」と「量」の表し方

基本例文

- ① Are there **many** birds in this forest? — Yes, there're *plenty / a lot*.
- ② You should not eat too **much** meat.
- ③ A **great many** people have lost their houses in the typhoon.
- ④ I saw **a few** students in the classroom.
- ⑤ There's **little** tea left in your cup.
- ⑥ Do you have **any** questions? — Yes, I have **some** questions to ask you.
 - ① この森にはたくさんの鳥がいますか。 — ええ、たくさんいます。
 - ② そんなにたくさん肉を食べ過ぎてはいけない。
 - ③ 非常に多くの人々がその台風で家を失った。
 - ④ 私は教室に2, 3人の生徒がいるのを見た。
 - ⑤ あなたのカップにはお茶がほとんど残っていない。
 - ⑥ 質問はありますか。 — はい、お聞きしたいことがいくつかあります。

不定の数を表す形容詞を**数量形容詞**と呼ぶ。可算名詞と不可算名詞の一方にしか用いられないものと両方用いられるものがある。肯定文、疑問文、否定文によって同じ意味の語が使い分けられる。

- ① **many** 「多数の」。可算名詞に用いる。口語では主語を修飾する場合を除いて、肯定の平叙文では代わりに a lot of, lots of, plenty of や a good [great / large] number of を用いることが多い。
- ② **much** 「多量・多額の」。不可算名詞に用いる。口語では代わりに a lot of, lots of, plenty of や a good [great] deal of などを用いることが多い。
- ③ **a great many** 「非常に多くの」。many, much を用いた慣用句はほかに次のようなものがある。a good many 「かなり多くの」、as many 「それと同数の」、as much 「それと同量の」
- ④・⑤ **few** は可算名詞に、**little** は不可算名詞に用いる。a few, a little は「少しはある」という肯定の意味。a がない場合 few, little は「ほとんどない、少ししかない」という否定の意味。not a few [little] は「少なからぬ」、quite a few [little] は「かなり多くの」の意味。
- ⑥ **some, any** はともに「いくらかの」の意味を表し、可算名詞と不可算名詞のどちらにも用いる。原則的には肯定文では **some** を、疑問文、否定文、条件文では **any** を用いる。

注意 人に物を勧めたり、頼んだりする場合には、上の原則に従わない。

Won't you have **some** tea? (お茶はいかがですか)

Can I have **some** more salad? (サラダをもう少しいいですか)

● Check-4

・次の文の()内から正しいほうを選び、記号で答えなさい。

- (1) We don't have (ア many イ much) time left. ()
- (2) A great (ア many イ much) people came to see the super star. ()
- (3) He is a man of (ア a few イ few) words. He rarely says anything. ()
- (4) As there was (ア a little イ little) gas left, we could drive to the town. ()
- (5) I'm a vegetarian, so I never eat (ア some イ any) meat. ()
- (6) Will you lend me (ア some イ any) money, please? ()

練成問題

- ① 次の文の()内から正しいほうを選び、記号で答えなさい。また、英文全体を日本語に直しなさい。
- (1) They love Mary very much; she is their (ア alone イ only) daughter. ()
()
- (2) Stop behaving in a (ア childish イ childlike) way! You're already eighteen. ()
()
- (3) It's amazing that a (ア ten years old イ ten-year-old) girl painted this. ()
()
- (4) Would you like (ア any イ some) more coffee? ()
()
- (5) He felt very lonely because he had very (ア few イ a few) friends. ()
()

② 次の英文の()内の語を適する形に直しなさい。

- (1) I like (Korea) food as well as Japanese food.
- (2) He is a scientist, and tends to think in a (science) way.
- (3) A small car is very (economy) on gas.
- (4) Look at Little Jane's dress. She looks very (girl).
- (5) It is (nature) that she should get angry with you.
- (6) John keeps regular hours, while his brother's life is (regular).
- (7) It was (possible) to swim in the river because it was too cold.
- (8) She sometimes gives us some (friend) advice.

③ 次の日本語に合うように、()内の語(句)を並べかえなさい。

- (1) 彼は約10フィートの高さの塀に登った。
(climbed / feet / a fence / he / ten / high / about).
.....
- (2) 私はそこであなたのお父さんと同じくらいの年配の人に出会った。
(there / a man / as old / I / your father / met / as).
.....
- (3) 何か特に言うことはありますか。
(you / say / have / anything / to / do / particular)?
.....
- (4) その箱の中のリンゴはすべて腐ってしまっている。
(gone / the box / the apples / have / all / bad / in).
.....
- (5) その仕事をするにはもっと若い人が必要だ。
(the task / somebody / it / younger / to do / needs).
.....

④ 次の日本語に合う英文になるように、.....に適する語を書きなさい。

□(1) 数学の最初の2問題は難しかった。

Our problems were difficult.

□(2) あの新しい青色のイブニングドレスは彼女には美しく映える。

That dress is beautiful on her.

□(3) 何か冷たい飲み物を持ってきてくれませんか。

Will you please bring us drink?

□(4) 砂糖を食べ過ぎると健康によくない。

To eat is not good for the health.

□(5) この新しい1ドル札5枚はあなたにあげましょう。

These bills are for you.

⑤ 次の各組の英文をイタリック体の語に注意して日本語に直しなさい。

□(1) (a) The *present* Queen of England is Elizabeth.

(.....)

(b) The Queen was *present* at the reception.

(.....)

□(2) (a) The *late* Mr. Brown was a great scholar.

(.....)

(b) Mr. Brown was *late* for the lecture.

(.....)

□(3) (a) It happened in a *certain* town in this prefecture.

(.....)

(b) She is *certain* to win the game tomorrow.

(.....)

⑥ 次の英文を日本語に直しなさい。

□(1) There were not a few people gathering in the hall.

(.....)

□(2) We were happy to hear that we were going to stay at a five-star hotel.

(.....)

□(3) She was disappointed to find plenty of soup left after the meal.

(.....)

□(4) He is an imaginative writer, and produces lots of imaginary animal characters.

(.....)

□(5) A great many fans from all over Japan have come to see the rock stars.

(.....)

□(6) We are looking for somebody healthy, intelligent and hardworking.

(.....)